

パソコンによる ビデオ編集紹介

2005.2.8

眞下 修身



ビデオ編集とは

撮影した映像を

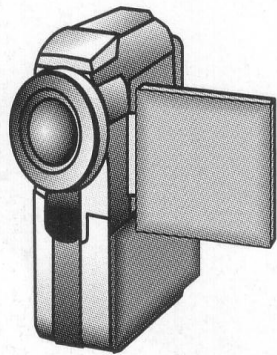
- 失敗した部分の削除。
- 撮影(クリップ)した順番の入れ替え。
- 長いカットを短く
- タイトル挿入など

→見やすくする、わかりやすくする。

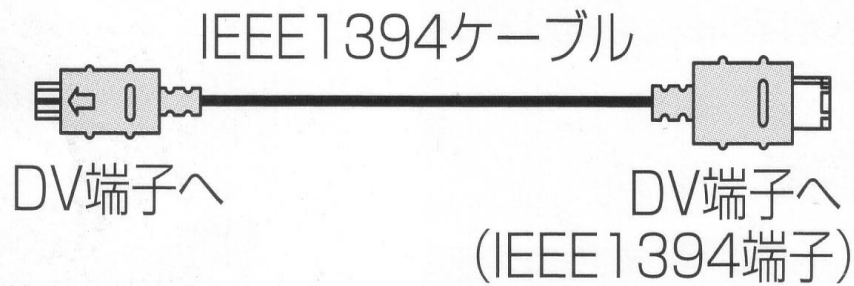


必要な機器

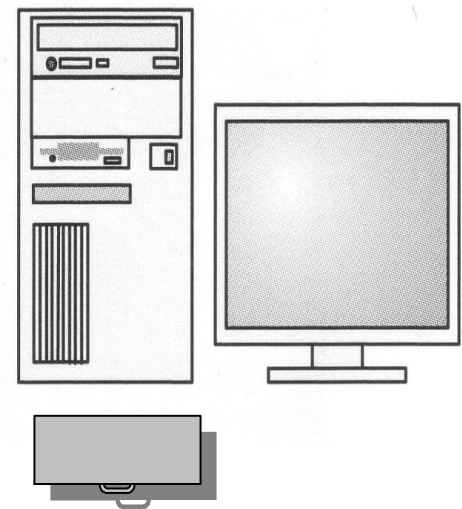
ビデオカメラ



DVカメラとパソコンを接続



パソコン

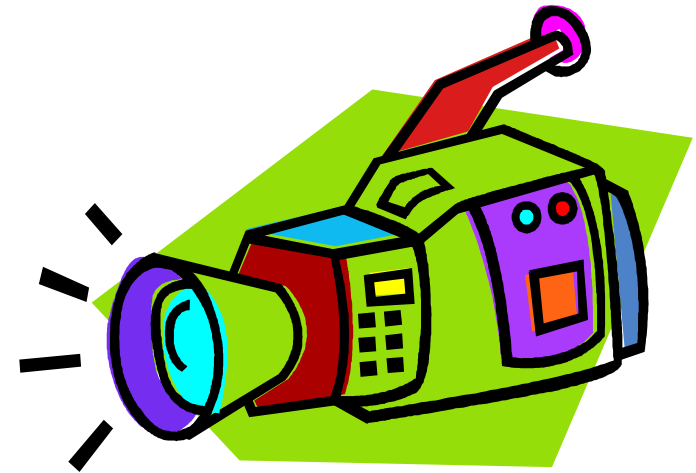


(1394IF ボード)



適したカメラは

- デジタルビデオカメラ（DVカメラ）
- DVカメラには
 - ・テープに記録する方式
 - ・DVDに記録する方式
- テープ記録方式
 - IEEE1394端子（DV端子）が必要
- DVD記録方式
 - DV端子は不要 → 対応DVD装置が必要



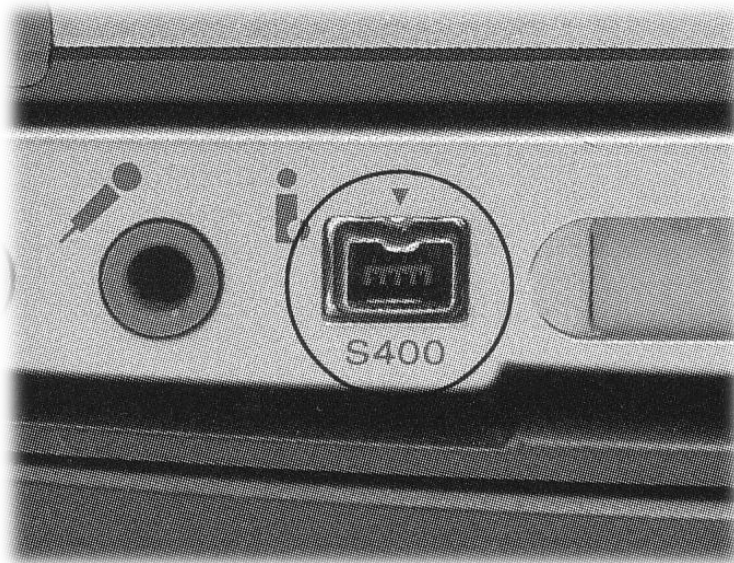
適したパソコンは（１）

- 2GHz以上のCPU
- 512MB以上のメモリー容量
- HDDは内蔵で7200回転/分以上、容量は取り込む映像の約3倍。
 - 1分間の映像で約230MB
 - 60分で13.8G * 3 ÷ 43GB
- IEEE1394端子つき（）

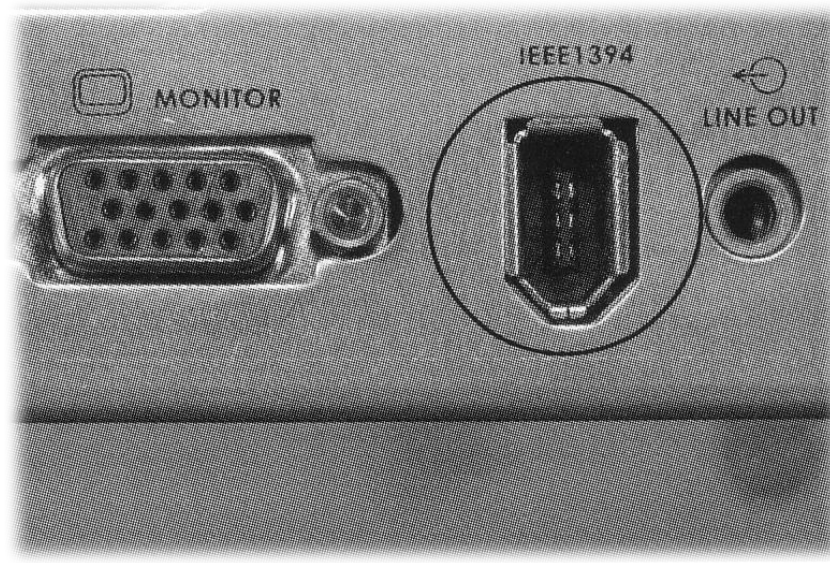


IEEE1394端子

パソコン側の形状



ノートパソコン（4ピン）



デスクトップ（6ピン）



適したパソコンは（２）

- OSはWindows2000、XP
- ファイルシステムはNTFS
（FAT32の場合は4GBのキャプチャ制限有り）






編集に必要なソフト

- ビデオ編集ソフト(上級者向け)
 - Adobe Premiere Pro
 - Media Studio Pro
- ビデオ編集ソフト(初心者向け)
 - Adobe Premiere EL
 - Video Studio
 - Windowsムービーメーカー



編集ソフトで出来る事

- 映像（動画、静止画）の取り込み
- カット編集（クリップの削除、追加、順序の入れ替え→アナログに比べて操作が簡単 
- 各種効果（トランジション、オーバレイ、ビデオフィルター等）の挿入 
- タイトルやテロップの挿入 
- オーディオ（BGM、ナレーション）の挿入
- テープ、DVDへの出力
（注）ソフトによっては、全機能を備えない物もあり



パソコンビデオ編集の特徴

- ビデオデッキによる編集に比べて
 - ①操作が簡単
 - ②精度が高い（機器の価格が同レベルの場合）
 - ③機能が豊富（機器の価格が同レベルの場合）
 - ④使用機器が安価（同程度の処理に対して）
- 静止画にも対応→スライドショーなど



(参) DVDの種類

媒体の種類	対応書込方式		書込回数	追記	消去
	DVD-Video	VR			
DVD-R	可	—	1回のみ	×	×
DVD-RW		DVD-VR形式OK	1000回	△	○
DVD+R		DVD+VR形式OK	1回のみ	×	×
DVD+RW		DVD+VR形式OK	1000回	○	○
DVD-RAM	不可	DVD-VR形式のみ	100000回	○	○



END

